

研修会報告

令和4年11月22日

文責：生物化学分析部門長 佐々木克幸

研修会テーマ「生化学分析装置の基礎と生化学データの読み方を学ぼう」

開催日時 令和4年11月5日（土） 14:00～16:00

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 東北大学病院検査部 佐々木克幸

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 54名 賛助会員 6名

合計 60名

講演1「電解質測定的基础と注意点」

株式会社日立ハイテック 後藤真由子 先生

「生化学分析装置の基礎と注意点」

積水メディカル株式会社 野上里恵 先生

講演2「生化学検査データの読み方」

仙台医療センター 臨床検査科 播磨晋太郎 技師

「日当直で役に立つ生化学の知識」

仙台オープン病院 診療支援部 臨床検査室 鎌田将矢 技師

16:00 終了

内容

今回の生物化学分析部門は「生化学分析装置の基礎と生化学データの読み方を学ぼう」というテーマで、新人および新しく配属された方向けの基礎的な内容で企画、開催した。

普段何気なく使用している生化学分析装置がどのように測定し、検査値を報告しているか、講演1では電解質測定と比色測定それぞれにおいて基本と注意点を中心に講演頂いた。電解質測定的基础と注意点と題した後藤先生の講演では、イオン選択電極の測定原理やキャリブレーションの結果解釈のポイントなど説明頂いた。電極状態管理に必要な情報の確認方法などを復習することができた。また、生化学分析装置の基礎と注意点と題した野上先生のご講演では、生化学分析の基本であるタイムコースの見方を中心に説明頂いた。ブラックボックスになりがちな測定原理から丁寧に解説してもらい理解が深まると共に興味が湧いた、などの声をいただいた。

講演2では生化学検査データの読み方と題して播磨技師に、日当直で役に立つ生化学の知識と題して鎌田技師に講演いただいた。播磨技師には、検査値の臨床的意義から結果報告の注意点など、ルーチン検査でよく遭遇する電解質異常を中心に解説いただいた。また、鎌田技師には、肝機能検査の考え方を中心に、臨床へのアプローチを症例提示しながら具体的

にお示しいただいた。播磨技師、鎌田技師ともに症例を交えた解説であり、聴講者から結果を報告する際気をつけるポイントを再確認できたとの声をいただいた。

今回の研修会は Zoom ウェビナーを用いた Web 研修会であり、宮城県外からも参加いただくことができた。アンケート結果も踏まえながら、今後も宮城県臨床検査技師会員のために楽しく学べる研修会を開催し、勉強する場を提供したい。